

# とよはし 市議会だより

TOYOHASHI CITY COUNCIL

平成25年6月定例会



主な 内容	6月定例会の概要	2~3
	議決結果	3
	いっばん質問	4~11
	請願	6
	陳情	7
	委員会の動き	9
	特別委員会の紹介	12
	9月定例会の開催日程	12

## 豊橋総合動植物公園 今昔

昭和29年、戦後復興のシンボルとして、現在の豊橋公園を会場に開催された「豊橋産業文化大博覧会」。その会場に博覧会後も残る施設として造られたのが「豊橋動物園」です。

昭和45年、現在の大岩町に移転し、名称も「豊橋子供自然公園」として生まれ変わりました。

その後、アフリカ園、遊園地、展望塔、憩いの広場が整備され、自然史博物館も一体となった「豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)」として平成4年に拡張オープン、平成8年には植物園がオープンし現在に至ります。

豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地  
TEL 51-2920 FAX 55-9020  
<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/gikai/>

No.  
**290**  
2013年8月1日発行

# 妊娠を希望する女性と夫へ

## 風しん予防接種の助成制度可決

6月定例会は6月10日から20日までの11日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、3日間にわたり16人の議員が一般質問を行いました。

次に、平成25年度一般会計補正予算など予算案3件、市税条例の一部を改正する条例など条例案3件、工事請負契約締結など単行案3件の合計9件の市長提出議案と、市民から提出された請願1件、陳情2件について、委員会審査を行いました。

最終日の20日には審査を終了した議案をそれぞれ可決しました。その後委員会への付託

を省略した議案2件を可決した後、市長から8件の報告を受けました。



### 主な議案の概要

#### ▼一般会計補正予算

シティプロモーション費として「とよはし食文化」プロモーション事業、耐震化促進費として木造住宅耐震シェルター整備費補助金、介護保険サービス費として介護保険施設等整備事業補助金、感染症対策費として風しんワクチン接種緊急促進事業、スポーツ環境整備費として岩田総合球技場管理運営事業など合計6億4179万3000円を補正するものです。

#### ▼総合動植物公園事業

##### 特別会計補正予算

両前脚を骨折したアジアゾウ「マール」の、リハビリ用プールを設置するための予算として1200万円を補正するものです。

#### ▼病院事業会計補正予算

豊橋市民病院において、放射線治療施設等の設計委託に3000万円、受水槽設備耐震補強工事に3700万円それぞれ補正するものです。

### 会議日程

- 5月27日 議会運営委員会
- 6月3日 議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 本会議(第1日)
- 11日 本会議(第2日)
- 12日 本会議(第3日)
- 13日 環境経済委員会
- 総務委員会
- 14日 建設消防委員会
- 福祉教育委員会
- 17日 一般会計予算特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 本会議(最終日)

#### ▼市税条例の一部改正

地方税法の一部が改正されたに伴い、寄附金税額控除および延滞金の割合の特例の見直しを図り、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長および拡充等を定めるため、現行条例の一部を改正するものです。

#### ▼市税外収入に係る延滞金に関する条例等の一部改正

地方税法の一部改正に準じ、税外収入に係る延滞金の割合の特例の見直しを図るため、現行条例の一部を改正するものです。

#### ▼物品購入契約の締結

老朽化に伴う更新のため、水槽付消防ポンプ自動車1台を4375万7060円、高規格救急自動車2台を3254万8580円でそれぞれ購入契約を締結するものです。

#### ▼工事請負契約の締結

資源化センターの3号炉維持整備工事のため、2億2575万円の契約を締結するもの

です。

#### ▼図書館条例の一部改正

マイクロフィルムの廃止に伴い、複写の手数料を削除するため、現行条例の一部を改正するものです。

#### ▼動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正

動物の愛護及び管理に関する

る法律の一部が改正されたに伴い、規定の整備を図るため、現行条例の一部を改正するものです。

#### ▼市営住宅条例の一部改正

福島復興再生特別措置法の一部が改正されたに伴い、規定の整備を図るため、現行条例の一部を改正するものです。



## 全会一致で原案可決した議案

- ・平成25年度豊橋市一般会計補正予算(第2号)
- ・平成25年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成25年度豊橋市病院事業会計補正予算(第1号)
- ・豊橋市市税条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市税外収入に係る延滞金に関する条例等の一部を改正する条例
- ・豊橋市図書館条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・工事請負契約締結について(3号炉維持整備工事)
- ・物品購入契約締結について(水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急自動車)

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

市政全般に対する

# いっぱん質問

16人の議員が、市長に質問しました。

## 豊橋環状線の整備について

新政未来 松崎正尚議員



**問** 豊橋環状線は、昭和3年、本市が周辺町村を周回する機能を持たせた都市計画として企てた最初の環状道路だが、現在でも環状機能を果たせていない。上渡津橋が完成して以来、豊川以北の整備が残されているが、その要因と今後の整備促進に向けた取り組みについて聞きたい。

**答** 豊橋環状線は、愛知県が整備を進めている延長約16.8キロメートルの路線で、現在も豊橋牛川西部土地地区画整理事業地区内で整備が進められています。

豊川以南は、土地地区画整理事業による市街地整備などに合わせ整備をしてきましたが、豊川以北については、多くの部分が市街地調整区域のため、面的な整備が行われてこなかったこと、また、国道1号線や県道豊橋豊川線の整備が推進されてきたことが要因に挙げられます。

## その他の質問項目

・新たな部活動の手引きによる中学校部活動の在り方について



本事業推進には、地域の声が必要であり、下地校区内に整備促進の広告塔が設置されたことも大きな活動の一つだと思います。今後は、幹線道路整備の在り方について調査、検証を行いながら、引き続き整備促進に向けた取り組みを、関係する6つの校区と豊橋商工会議所などの関係団体によって組織される豊橋環状線整備促進期成同盟会と連携して進めていきたいと考えています。

## 4歳女児死亡事件を受けての対策について

日本共産党豊橋市議員 斎藤 啓議員



**問** 豊橋市4歳女児死亡事例検討報告書における対応策の推進状況および子育て世代を取り巻く課題について、また、身近な相談場所についての認識と、インターネット等を活用した子育て情報や交流の場への考え方について聞きたい。

**答** 事件の検討に当たり、市役所の関係各課で何をすべきであったか、市役所内部の連携、市役所外部に何を求めるかの三つの視点で報告書をまとめ、児童虐待についての研修の実施など、業務体制の充実や、職員の気づきの意識の向上に努めています。また、所在不明児童の情報集約や、民生児童委員等の「こんにちは赤ちゃん訪問事業」による地域の見守り体制の強化などの対応を進めています。

子育て世代を取り巻く課題については、少子化に伴う核家族化の進展により、相談相手がいらないといった親が増えている中、

養育意欲が低く、孤立しがちな家庭に対する相談体制の充実が重要であると認識しています。

また、身近な相談場所としては、市の開催する「ここにこサークル」のほか、大崎校区では子育て家庭支援の会が自主的に設立され、交流や相談・援助の窓口を設置しています。併せて高齢者の居場所づくりの中に、多世代交流の場となるような運営の在り方について検討を進めています。

インターネット等の活用については、行政としては現時点では実施していませんが、市内のNPO団体が、子育て中の親がネット上で交流できるソーシャルネットワークサービスを運営しており、こうした団体と連携することにより、支援の取り組みができればと考えています。

## その他の質問項目

・教職員の在校時間縮減の取り組みの現状と今後の方向性について  
・生活保護制度に関する諸課題について

## 高齢者への地域支援の推進について

豊議会 市原享吾議員



**問** 高齢者の居場所づくりを進めることは、高齢者の社会貢献活動の促進や生きがいづくりにもつながる非常に大切な活動と思われるが、こうした居場所づくりの活動に対し、行政としてどのようなかわりを持っていく考えなのか聞きたい。

**答** この活動は、個人や町自治会など、運営主体がさまざまであり、それぞれが独自に活動しているため、横のつながりが薄い状況です。そこで、本市がそれぞれの運営者に声をかけて、情報交換の場として交流会を開催しています。

また、こうした居場所の存在を地域の高齢者にさらに知っていただくために、市が発行している情報誌「アクティ」に掲載するなど、支援を行っています。

今後においても、それぞれの自主的な活動を見守っていきませんが、地域で高齢者を支えることにつながる居場所づくり

が、少しでも広がるような支援を今後とも行っていきたくと考えています。



金田住宅ふれあいサロン

**その他の質問項目**  
・本市の救急救命体制の充実について

## 市民の期待に応える広域連合について

新政未来 豊田一雄議員



**問** 東三河広域連合について、市民が期待する情報開示がされていない。市民の関心は広域連合の実現によりどんなプロジェクトが生まれるかがあるが、行政からの情報提供は事務の統合や権限の移譲に関するものが中心である。広域連合への市民の理解促進方法等について聞きたい。

**答** 広域連合設置に向けては、市民の皆様にご理解いただきながら進めていくことが何よりも大切であると認識しています。これまでは内部検討の段階であったことから、提供できる情報も広域連合の設置目的や組織の体制など主に事務的なものに限られていました。

今後は広域連合が何に取り組み、住民の暮らしや地域の産業活動等にどのような影響があるのかなど、わかりやすくお伝えすることが重要であると考えており、現在、市民向けにパンフレットの作成を進めている

とところです。また、広域連合は地方自治法に定められた組合の形態の一つであり、様々な事業を行うことができます。まず広域連合を設置し、できることから始め、そして十分な議論や検討を進めた上で新しい事業を追加していくことができます。

このように広域連合とは、非常に柔軟であり懐の深いものです。明日の新しい地方自治の形をつくることのできる大きな可能性を持ったものであると思っています。

そうした理念や信念をきちんと持ち、何をすべきか、そしてその必然性、効果は何か、使命、理念ということもきちんと説明しながら、進めていきたいと考えています。

**その他の質問項目**  
・豊橋市の経済成長に国の成長戦略を最大限に活かすための方策について  
・職員、教員の公務員倫理の徹底について

## ホームページのご案内

本号で取り上げた6月定例会の一般質問や委員会での議案審査など、会議内容は平成25年9月から閲覧できます。

\*豊橋市議会ホームページから、本会議、常任委員会、特別委員会の会議録を読むことができます。本会議は、平成7年5月から、各委員会は、平成11年5月から検索して読むことができます。また、一般質問の録画中継が平成23年6月からご覧いただけます。

<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/gikai/>

豊橋市議会

検索



是非見てね



## 首都圏活動センター について

新政未来 山本賢太郎議員



**問** 首都圏活動センターのこれまで3年間の取り組みの評価と課題について、また、運営に当たった費用対効果について聞きたい。

**答** 開設以来、シテイプロモーション活動をはじめ、企業誘致・訪問活動、行政情報の収集活動など、精力的に取り組んできました。ええじゃないか豊橋応援倶楽部とのネットワーク拡大、トピー工業株式会社をはじめとした、本市立地企業本社との交流、そして国の省庁や各自治体の東京事務所等との連携などを生かした情報収集活動によって、イベントの充実、企業誘致、行政情報の提供などにも一定の効果があらわれてきています。

課題は、これまで豊橋を認知してもらう取り組みを中心に進めていましたが、今後は関心を持つてもらい、選択をってもらうという次のステップに踏み出せるよう、首都圏における

シテイプロモーション活動を充実させていくことが必要と考えています。

運営に当たった費用対効果については、最新情報の収集や効果的な情報発信はもとより、首都圏でのネットワークを活用した、機動的かつ効果的なサポートが可能となるなど、東京に立地し、運営しているからこそ上げることができる、十分な費用対効果があると認識しています。



## 子どもの発達に重要な あそびについて

とよはし市民会議 渡辺則子議員



**問** 小中学校において、子どもたちの体力が落ちてきている。幼稚園や保育園における遊びと体づくりの大切さを本市独自の指針として示すことについて、また、それらに取り組む家庭、地域、園の支援に対する考えについて聞きたい。

**答** 乳幼児期は、遊びを通して心と体が一体となって発達していく時期であると考えています。さまざまな遊びを経験することで、調和のとれた心身の発達につながるため、保育園、幼稚園では、それぞれの場面において、発達の状況に応じた遊びを提供することが必要であると考えています。

本市としての指針については、保育園は保育指針、幼稚園は教育要領に基づいて、それぞれの園が遊びを通して育ちへの支援を行っているのが現状です。これから来年度にかけては、次期子育て支援のプランを策定することとなっていますので、家庭や

地域への支援も合わせて、その位置づけを検討していきたいと考えています。



わらべ歌あそび

**その他の質問項目**  
 ・子ども子育て関連3法施行を前に取り組むべき体制づくりについて  
 ・本市の子ども子育てを応援する条約や条例の役割確認と検証について  
 ・「子どもの貧困」問題について  
 ・子ども子育て家庭支援を官民協働で試行する考えについて

請 願	議 決 結 果
○ TPP(環太平洋パートナーシップ)に参加しないよう国に対して働きかけることを求める請願	趣旨採択

\*趣旨採択とは

請願の願意は十分に理解できるが、財政状況等から願意を実現することが困難と判断される場合、「趣旨には賛成」という意味で議決するもの。

## 教育環境下での障害者福祉の

### 考え方について

新政未来 近藤喜典議員



**問** インクルーシブ教育システムの構築についての本市の現状と認識および、特別支援学校開校に向けて特色ある教育活動の推進への考え方について、また、福祉部における障害児（者）への相談、就労支援の現状と課題について聞きたい。

**答** 共生社会の形成に向け、障害のある子どもも地域の学校とともに学ぶ中で、互いの個性を認め、支え合う心と態度を培うというインクルーシブ教育の理念は、これからの特別支援教育の大きな方向であると認識しています。

特別支援学校開校に向けては、インクルーシブ教育システムを視野に入れながら、市立という強みを生かした特色ある教育活動の推進に向け、現在準備を進めているところです。今後は、福祉、医療、就労といった、関係諸機関とのネットワークの構築に向けた環境整備にも着



豊橋市立特別支援学校イメージ

手していきたいと考えています。また、障害児（者）への相談、就労支援として、今後とも卒業後の進路や在学中のサービス利用、また生活に関するさまざまな相談など、きめ細かく対応していきたいと考えています。課題としては、就労支援も含めて、複雑・多様化する相談支援のニーズに幅広く対応していくために、発達障害児への支援や就労支援を専門的に行うコーディネーターの確保などであると認識しています。

## 障害者の就労支援施設等の

### 整備について

日本共産党豊橋市議団 牧野英敏議員



**問** 障害者就労支援施設等のバリアフリー化や保健衛生などの環境整備、および防火・防災に対する取り組みについて聞きたい。

**答** 人員・設備・運営基準において、事業所の設備は障害者の特性に応じて工夫され、日照、採光、換気等の保健衛生に十分配慮されたものでなければならぬとされています。各事業所は、この規定に基づいた環境の整備、サービスの提供を行っており、必要に応じてこれらに現地確認や指導などを行っているところです。特に既存建物を利用して運営している施設は、改修が必要となるケースもありますが、施設のバリアフリー化については、国の社会福祉施設等施設整備費補助金の対象となるため、こうした制度を活用しながら、障害者が利用しやすい環境を整えていく必要があると考えています。

防火・防災に対する取り組みについては、事業者は消火設備や

非常災害に際して必要な設備を設けることや、利用者の安全を確保するため具体的な計画を立てること、および関係機関への通報体制を整備し、定期的な避難訓練を行うことが義務付けられており、地域住民等との連携協力体制についても整備するよう努めるものとされています。

また、ハード面だけではなく、ソフト面の対策も必要であると考えており、バックになりやすい等、個々の障害者の特性を把握して、それに合わせた避難誘導方法を検討していくなどの取り組みが必要となるため、施設職員のさらなる意識向上と、スキルアップを目的とした啓発や研修会を、市としても実施していきたいと考えています。

#### その他の質問項目

・高齢化社会における住宅施策について  
・高齢者の介護予防等に対する本市の認識について

## 陳 情

- ◆ 最低賃金の引き上げ、公契約条例の制定など働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情
- ◆ 「過労死防止基本法」の制定を求める意見書採択の陳情

## 市街化調整区域における 土地利用について

新政未来 田中敏一議員



たいと考えています。

**問** 市街化調整区域の耕作放棄地等を活用した産業振興、および活性化施策への本市の認識と今後の取り組みについて、また、産業用地の確保には、農地法などの規制をクリアしなければならぬが、対応について聞きたい。

**答** 現在、市街化調整区域については、優良農地の集積による農業基盤の強化を推進しています。一方で幹線道路の沿線等では、現行制度のもと流通業務施設などの特定業種の進出も見受けられます。

本市としては、既存施設の有効活用を図るとともに、市街化調整区域における農地の実情を踏まえ、農工バランスのとれた土地利用を進めることが、本市の産業振興につながるものと考えています。

今後は、地域の特性を生かした優良農地の創出と産業用地の確保を進める一方、積極的な企業誘致にも取り組んでいき

## 自然資産を生かした 取り組みについて

新政未来 尾崎雅輝議員



努力による取り組みが必要であると

**問** 5年、10年先を見据え、本市として自然を守っていくための施設整備として、駐車場とトイレが整備されていない自然歩道の進入口に対する考えおよび維持管理をしている自然歩道推進協議会の高齢化・後継者不足への対応を聞きたい。また、学校林の現状と課題を聞きたい。

**答** 自然歩道への主な進入口については、おおむね施設整備が行われており、一部駐車場が配置されていない所についても、公共交通機関を経由しての利用が可能であり、最低限の施設は整っていると考えています。また、観光バスが立ち寄り、利用者の多い葦毛湿原への進入口などでは、駐車場やトイレの充実を進めています。また、その他の場所では、

便益施設の維持管理を優先して取り組んでいきたいと考えています。

自然歩道推進協議会については、基本的には協議会自身

ながら健康を維持しているという志向の高まりが伺えるため、こうした機運を利用して、イベント参加者を協議会活動に誘導していくための支援を進めていきたいと考えています。

学校林については、現在学校林を教育活動に取り入れている学校は2校となっています。課題として、維持管理に多大な労力や時間が必要であることや、協力いただいている地域ボランティアの高齢化等があります。

自然歩道推進協議会については、基本的には協議会自身



## 議場見学



本会議場を見たい、市議会の概要の説明が聞きたいなど、見学の希望があったら議会事務局まで連絡してね。

○受付場所 東館7階 議会事務局  
TEL 51-2920



## 総合動植物公園の 経営基盤強化について

豊流会 中村竜彦議員



**問** 総合動植物公園について、昨年3月定例会において私の一般質問に対し、いずれも「検討します」という答弁であった、持続可能な経営基盤確立に向けた諸策5点の検討状況について聞きたい。

**答** 子どもの水遊び環境の整備については、カナルル両サイドの園路整備と、ベンチなどの休憩場所を新設するとともに、水質管理・安全管理に配慮した環境確保を進めています。駐車場の有料化については、新たな収入確保策として有益な考えと受け止め、検討を進めているところです。

有料の餌やり体験については本年度4月、5月にイベントを実施し、ここで得られた改善点を踏まえ試行的に実施したシマウマ、ニホンザルに加え、カバ、カンガルー、ホッキョクグマなどにも対象範囲を広げる検討と、設定料金等、詳細な詰め作業をしており、速やかに実施して

いきたいと考えています。

移動販売業者の活用については、例年8月に開催のナイトガーデンで、本年度は開催エリアの拡大とともに、新たに飲食ブース20店舗程度を出店することとしており、将来的にはフードコートの実現のほか、魅力的な売店、レストランの改善にも取り組んでいきたいと考えています。

遊園地遊具の低料金化については、収入増とリピーター確保につながるかと考えており、例えば一日乗り放題券など、バラエティに富んだインパクトある料金体系について、現在検討をしているところです。



その他の質問項目

子どもの安全について

## 入札制度における 失格判断基準について

絃基会 寺本泰之議員



編集委員会より

寺本議員の一般質問については、編集委員会で編集方法、ルールに基づき掲載内容について、本人と協議いたしました。一致をみる事ができませんでした。そこで、今回は残念ながら表題に対する質問・答弁の掲載を見送ることになりました。

### その他の質問項目

- ・新植田住宅建設に伴う電気工事(第2期)について
- ・豊小学校ほか1校給食用エレベーター改修工事について
- ・建設工事等における入札制度について
- ・本市の情報公開について

今回初めて、寺本議員の一般質問に対して、議員の発言の趣旨を確認するため、議会基本条例第9条(確認機会の付与)に基づき、当局から、発言趣旨の確認が行われました。

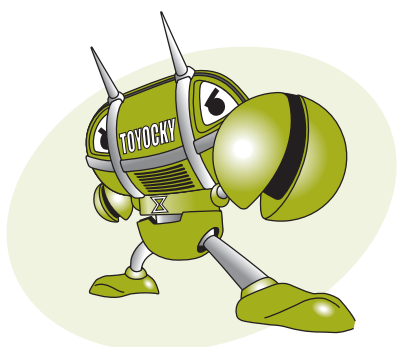
## 委員会の動き

東三河広域連合  
調査特別委員会

東三河広域連合(仮称)について

住民への周知活動について

(6月19日)



※議会基本条例第9条(確認機会の付与)

議長並びに常任委員会及び特別委員会の委員長は、会議における審議等の充実を図るため、会議の論点等を明確にする必要があると認めるときは、市長等に対し、議員の発言の趣旨に対する確認の機会を付与することができる。

## 水道管路の 老朽化対策について

まちフォーラム 廣田 勉議員



**問** 水道管路の耐震化イコール老朽化対策となるが、水道管総延長約2190キロメートルに対する耐震化率は12・6パーセントに過ぎない。これら上下水道事業にかかる補修更新費について10年、20年後の推移と今後の計画について聞きたい。

**答** 今後、高度成長期の拡張時代に布設した配水管が順次耐用年数を迎えることから、現在の事業費ベースで更新を行っていくと、法定耐用年数を迎える配水管は、平成40年度末には、約800キロメートルに達するものと試算しています。

しかしながら、水道技術も目覚ましい発展を遂げており、現在採用している配水用ポリエチレン管などは耐震性能の向上や長寿命化につながるものと考えています。これらの長寿命化対策に合わせて、既存のマッピングシステムに漏水修繕の履歴を登録するなど、今まで以上に適

正な維持管理を行うことにより、更新需要の集中化を起さないよう、計画的に対応していきたいと考えています。また、下水管路については、現在、戦災復興事業により整備した耐用年数50年を過ぎた老朽管路について、テレビカメラや目視による調査を行い、その状況に合わせた、管更生修繕や布設替えを行っており、今後も同様な対応を図っていきたいと考えています。

その他の質問項目  
本市における情報化施策について

## 女性の視点からの 防災・減災対策について

公明党豊橋市議団 沢田都史子議員



**問** 「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」に対する認識と対応について、また、市職員が男女共同参画の視点からの災害対応ができるよう、理解を深めるための対応について聞きたい。

**答** 災害時においては、避難所や自宅での避難生活を余儀なくされますが、男女それぞれのニーズはおのずと違ってきます。さらには、普段、女性は子育てや高齢者の世話をしている状況が多いということからも、避難所生活ではさらに過酷な環境での対応を強いられることとなり、女性の疲弊は大きいと、東日本大震災においても指摘されています。こうしたことから、

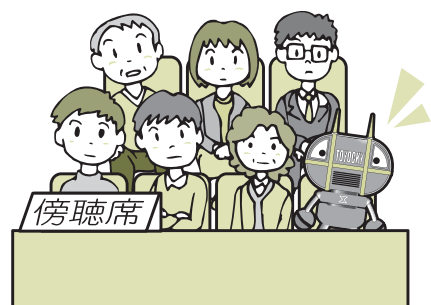
防災・減災への取り組みに女性の視点は大変重要であると認識しています。今後についても、積極的に女性の参画を進め、平常時における社会の課題が災害時には一層顕著に表れると言われているため、少しでも緩和

できるよう男女共同参画の視点で、防災・減災対策等を進めていきたいと考えています。また、市役所の中においても、職員が横の連携を図りつつ、女性の視点での防災・減災等の対策が定着できるように働きかけをしていきたいと考えています。



その他の質問項目  
市民の命を守るための防災・減災対策について  
地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて  
「買い物弱者」の問題について

## 市議会を傍聴してみませんか



- 受付場所 本会議…西館8階 議場受付  
委員会…東館7階 議会事務局受付
- 手続き 傍聴受付票に住所と氏名を記入  
(随時入退出できます。)

6月定例会では延べ92人の方が本会議を傍聴されました。  
次の9月定例会開催日程(予定)は12ページのとおりです。

## 斎場の現状と課題

### 今後の対応について

新政未来

佐藤多一議員



**問** 岡崎市は、平成24年3月に岡崎市火葬場建設基本計画を作成し、28年度の供用開始を目指している。本市の火葬場も岡崎市と同じく、昭和51年に供用が開始され37年が経過しているが、現状と課題および今後の対応について聞きたい。

**答** 斎場の現状について、火葬炉におきましては、大規模な改修を行うことなく、日々の保守点検と補修を実施することにより使用を続けていますが、確実に老朽化が進んでいます。また近年は、高齢化の進展に伴い、火葬件数が10年前と比べ22%増となっています。この火葬件数の増加傾向は、今後も続くものと考えており、将来的に火葬需要に配慮されない状況が発生することが懸念されます。したがって、課題としては、施設の老朽化と火葬件数の増加への対応であると認識しています。今後について、火葬件数の増

加に対応するためには、火葬炉の増設が必要となりますが、現施設における増設は、敷地面積や建物の構造上難しく、斎場全体の再整備が必要となります。

したがって、現施設を安定的に稼働させながら、市民の火葬需要に配慮することが困難となる時期を見極め、それまでに再整備を完了するためのスケジュールを決定していきたいと考えています。そして、火葬件数の増加に対応できる適正な火葬炉数など、具体的な再整備計画も併せて策定していきたいと考えています。

## 東三河環状線の進捗よくと課題について

豊流会

小原昌子議員



**問** 豊橋市・豊川市の市街地外周部に計画された東三河環状線は三河港の臨海工業地帯と東三河の内陸工業地帯とを連結させ、幹線道路へのアクセス向上と交通混雑緩和を目的としている。昨年度から3か年計画で牛川トンネル建設工事が進んでいるが、進捗よくと課題について聞きたい。

**答** 東三河環状線の進捗よくについては、平成24年10月に牛川トンネル(仮称)の本体工事が発注され、平成25年3月にはトンネル掘削工事が始まっています。また、同時に石巻工区の道路改良工事も進められ、現道の東三河環状線までの事業化区間の早期完成を目指して進められています。

今後の課題としては、ミッシングリンクの早期解消が必要であり、石巻工区の先線として、国道362号との接続、さらには豊川を横断する橋梁により、東名高速道路豊川インターチェン

ジまでつながることとなり、環状道路としての機能が発揮されま

す。

今後、この事業化されていない区間については、現道との接続箇所や生活道路において混雑も懸念されますので、東三河環状線整備促進期成同盟会とともに、一日も早い事業化に向け、関係機関に積極的に働きかけていきたいと考えています。



## 編集委員よりのご挨拶

議員で構成する「編集委員会」が、この議会だよりの作成にあたることになってから、今回で4号目になります。

編集委員会ができたことにより、一般質問について質問者の氏名等を記載し、その内容は質問者自身が議事録から抽出した内容を元に、委員会で編集しており、また、開かれた議会の一環として、議案の賛否を記載することなどに取り組んでいます。

市民のみなさまに、議会のことによりわかる『議会だより』を目指し、編集委員一同、努力してまいります。あわせて市民のみなさまの声を聞かせていただければ幸いです。どうぞよろしく願っています。

編集委員

◎堀田伸一 ○渡辺則子

松崎正尚 尾林伸治

星野隆輝 斎藤 啓

その他の質問項目  
・男女共同参画行動計画「とよはしハート」プラン2013-2017の取り組みについて

その他の質問項目  
・食による健康づくりについて

# 特別委員会の紹介

豊橋市議会では特定の目的を調査研究するために下記の3つの特別委員会を設置しています。

平成25年5月設置  
**東三河広域連合調査特別委員会**

東三河が目指す広域連合の姿や、広域連合議会を含めた具体的な組織体制について調査研究します。



佐藤多一委員長

新たに設置された本特別委員会の委員長に選任いただきました。

東三河の発展のため、広域行政の在り方や将来ビジョンなど調査研究を進めるとともに、連携する市町村議会との意見交換も積極的に行ってまいります。

平成24年6月設置  
**議会活性化等調査特別委員会**

「市民に開かれた議会」「市民に分かりやすい議会」を基本に、議会の活性化・改革に向けて調査研究します。



深山周三委員長

議会はこれまでも議員定数の削減や議会関係の経費縮減、情報公開の推進・透明性の確保など、さまざまな議会改革・改善を進めてきました。地方分権改革の進展や、議会に対する市民世論の高まりを認識し、市民から信頼され、期待に応えるよう、さらなる議会改革に努めてまいります。

平成23年9月設置  
**地震対策調査特別委員会**

本市の業務継続計画策定に当たり、地震対策について、より広域的かつ効果的なものとするために調査研究します。



堀田伸一委員長



大規模地震発生時に最低限の市役所業務を存続させ、また、速やかに復旧させるための「豊橋市役所地震対策業務継続計画」が本年2月に策定されました。今後は内閣府「南海トラフ巨大地震」の被害想定が全て公表された段階での修正検討になります。今年度も委員一同全力でがんばります。

## 9月定例会の開催日程(予定)


会期:9月2日(月)～24日(火)

質問項目のHP掲載日は  
8月30日(金)

請願・陳情の締切は  
8月27日(火)17時

 はケーブルテレビ、  
 インターネット中継日

日程は変更になる場合  
もありますので、傍聴の  
際には議会事務局  
(51-2920)までお問い  
合わせください。

9月 2日(月)	10時	 本会議(一般質問など)	議場(西館8階)
3日(火)	〃	 〃 (一般質問など)	〃
4日(水)	〃	 〃 (質問者が11人以上の場合)	〃
9日(月)	10時	常任委員会(議案審査など)	第2委員会室(西館7階)
10日(火)	10時	〃	〃
	13時	〃	〃
11日(水)	10時	一般会計予算特別委員会 (補正予算審査など)	第1委員会室(西館7階)
12日(木)	10時	決算特別委員会(決算審査など)	第1委員会室(西館7階)
13日(金)	〃	〃	
17日(火)	〃	〃	
18日(水)	〃	〃	
24日(火)	13時	本会議(議決など)	議場(西館8階)

※本会議を含めすべての会議が傍聴できます